

## 平成28年度かぬまマイカレッジ・詩の講座 No57 (前期) 案内

戦後政治の大きな転換を図る日本はこれからどのような国に向かおうとしているのでしょうか。明治の青春を駆け抜けた石川啄木の詩歌や評論に親しみ、その中から受け継ぐべき感性と社会に対する先見の思想を学ぼうではありませんか。これからの「人と社会」を構想するには、明治の40年代「時代閉塞の現状」を冷徹に見据え「明日への考察」に命を賭けた啄木から学ぶべきことがたくさんあると思います。

講師 小林守城

- 1 テキストを用い、もう一度、石川啄木の詩歌・評論を読みなおし、その魅力と先見性について語りあい、いっしょに学びましょう。
- 2 県内の著名な文芸家を招き、啄木についての特別講演を予定します。
- 3 日常のメモや日記から、自分の詩作品等を書いてみましょう。修了までに、それぞれの詩歌を仕上げてください。

### \* 使用テキスト

「石川啄木入門」池田 功 桜出版 1,200円 E

「一握の砂・悲しき玩具」石川啄木 新潮文庫 430円 E

\* 問い合わせ・・・鹿沼市加園 1230 小林守城 0289-64-9684



詩の講座・前期日程（下記の通り） 会場：鹿沼市民情報センター 4F テレビ会議室

1 4月27日(水) 13:30~15:30      2 5月11日(水) 13:30~15:30

3 5月25日(水) 13:30~15:30 (特別講演予定)

4 6月8日(水) 13:30~15:30

5 6月22日(水) 13:30~15:30 (以上前期)

\* 受講申し込みは、かぬまマイカレッジ事務局、3月9日(水)より電話受付  
鹿沼市民情報センター5F、Tel 0289-63-8360

\* 定員15名、受講料3,000円 (前期5回) テキスト代込み

\* なお、中期日程は7月~9月 5回 その際は再募集します。テキストは同じです。

**石川啄木** 1886年(明治19年)2月20日、岩手県南岩手郡日戸村、常光寺生まれ。

1902年(明治35年)10月盛岡尋常中学校(現在の盛岡第一高等学校)退学、上京、与謝野鉄幹・晶子夫妻を訪問、16歳。19歳、一家、渋民村宝徳寺を出る。節子と結婚、処女歌集「あこがれ」出版。20歳、渋民尋常高等小学校代用教員に採用される。21歳、一家離散、北海道函館に渡る。22歳、釧路から単身上京。24歳、朝日歌壇の選者、歌集出版「一握の砂」、妻節子の家出、大逆事件に大きな衝撃を受ける。小説「鳥影」「赤痢」、評論「弓町より 食ふべき詩」「時代閉塞の現状」他など執筆、歌集出版「悲しき玩具」没後。1912年(明治45年)肺結核により4月13日逝去 (26歳)